

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	【建築工学コース:必修科目】【建築コース:必修科目】【デザインコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	教材:名古屋大学日本語研究会GK7著『スキルアップ!日本語力』(東京書籍) ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。						
日程と内容	第1回:講義概要+文法4 1回目 第2回:文法4 2回目 第3回:語彙・言葉の意味1 1回目 第4回:語彙・言葉の意味1 2回目 第5回:語彙・言葉の意味2 1回目 第6回:語彙・言葉の意味2 2回目 第7回:語彙・言葉の意味3 1回目 第8回:語彙・言葉の意味3 2回目 第9回:語彙・言葉の意味4 1回目 第10回:語彙・言葉の意味4 2回目 第11回:漢字・表記1 1回目 第12回:漢字・表記1 2回目 第13回:漢字・表記2 1回目 第14回:漢字・表記2 2回目 第15回:まとめと総合問題 定期試験 第16回:後期のまとめ						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	定期試験の結果を見ると、日本語の基礎知識については、概ね理解できていたが、基礎知識を用いて表現する段階において、不十分な学生が一部見受けられた。						
反省点	基礎知識の面で 1、自動詞と他動詞の違いを理解できていなかった学生がいた点 2、「できごと視点」と「動作主視点」の違いを理解できていなかった学生がいた点 3、学生にとって比較的なじみのある、「マニュアル」敬語を適切な敬語に改めることができていなかった学生がいた点						
来年度の計画	上記の基礎知識の面における反省点を改善すること、基礎知識を用いて表現する段階の教授法を工夫すること。						
授業評価アンケートに対するコメント	問6「授業の刺激され授業内容に興味を持つようになる」授業を創り出す工夫を続けていきたい。						
履修登録者数	95名	定期試験 受験者数	90名	合格者数	90名	合格率	100%